



健康のススメ

肝炎ウイルス検査



お話：健康推進課 岩本 智美 保健師 図 TEL7-42-1050

もうお済みですか？ 肝炎ウイルス検査

毎年、肝がんによって大勢の人が亡くなっています。その数は全国で約3万人、岡山県で約600人にも上ります。そのうち約80%がB型肝炎、またはC型肝炎からの発症といわれています。肝がんを予防し、ご自身の健康を保つためには、ウイルス性肝炎の早期発見・早期治療がとても大切です。

ウイルス性肝炎って？

ウイルス性肝炎はA、B、C、D、E型などの肝炎ウイルスに感染することで起こり、肝臓の細胞が壊れていく病気です。中でも、B型、C型肝炎ウイルスについては、感染すると自覚症状がないまま慢性肝炎が進行してしまい、徐々に肝臓の機能が失われ、ついには肝硬変や肝がんに至る場合が多々あります。肝臓は「沈黙の臓器」ともいわれているように、肝炎にな

つてもなかなかSOSを出しません。「体がだるい」といった症状が出るころには、かなりの重症になっていることもよくあります。

検査は簡単です

感染を早期に発見し適切な健康管理や治療をすれば、完全に治したり、肝硬変や肝がんが悪化するのを防いだりすることが出来ます。肝炎ウイルスに感染しているかどうかは、血液検査で分かります。真庭市でも、肝炎ウイルス検査を実施しており、実施期間や対象者、料金などは下記のとおりです。受診できる医療機関など詳しくは、4月に配布する『保健だより』をご確認ください。検査は簡単なものですから、検査を受けたことがない人や受けたかどうか覚えていない人は、その結果を覚えていない人は、肝炎ウイルス検査を受けましょう。

感染が分かったら？

検査で感染していることが分かったら、時期を置かずに医療機関で肝臓の状態をチェックしてもらいましょう。必要に応じて適切な治療を受けることができ、肝硬変や肝がんへの進行を防ぐことが可能です。以前は治療が難しい人もいましたが、医療や薬の進歩により、ほとんどの人が治療可能な病気になってきました。健康を守るため、まずは医療機関に受診しましょう。

感染予防は？

B型、C型肝炎ウイルスは公衆浴場や食器の共用などの日常生活で感染することはまずありません。ですから何度もウイルス検査を受ける必要はありません。ただし、B型肝炎ウイルスは性行為によっても感染するので、注意が必要です。その他、検査や予防のことなどについては、必要に応じて分らないことがあれば、医療機関または健康推進課にお問い合わせください。



必ず受けよう 肝炎ウイルス検査

■真庭市肝炎検査

- 期間 毎年5月1日～10月31日（休日除く）
- 対象者 次のどちらかに該当する人
 - ・40歳の人
 - ・40歳以上で、1度も検査を受けたことがない人、または過去に肝機能異常を指摘されたことのある人
- 料金 1,200円

※事前に実施医療機関に予約をしてから受診してください。
※特定健康診査、胃がんABC検診などの血液検査と同時に受けることができます。

■真庭保健所肝炎検査（※無料）

- 日時 第3火曜日の午前9時～11時（予約制）
- 連絡先 真庭保健所 TEL0867-44-2990

※市が行う肝炎検査、職場での健康診断などで受診の機会がある人は、原則そちらを優先してください。

■肝炎一次専門医療機関での検査（※無料）

県内に114ある専門医療機関（H27.2.13現在）で無料検査を実施しています。保健所にお問い合わせいただくか、岡山県のホームページをご覧ください。

岡山県 肝炎

検索



新たに植栽された杉

木質バイオマス発電 稼働に向けて

〜シリーズ最終回〜

真庭バイオマス発電所の稼働まで約1カ月。これまで関係団体の取り組みや発電所の建設状況などをお伝えしてきました。最終回である今回は真庭市としての展望など、農林振興課の綱島直彦課長に話を伺いました。

バイオマス発電で 裾野産業の活性化を

バイオマス発電所が稼働することにより、今まで用途のなかった未利用木や枝葉、製材端材などが燃料として利用されます。木材の燃料利用は、全体から見ると、ごく一部にすぎませんが、その意味は小さくありません。「木を使い切る」この事業が軌道に乗れば、森林資源を最大限に活用するという経営感覚が増大し、裾野産業の活性化が期待されているからです。とりわけ、木材の需要が高まることにより、建築用材などとして利用する林業の本流部分の活性化

へつながるものと、大きな期待を寄せています。

森林を整備することが 木材調達につながる

地域資源の活用という観点からみると、現状は、製材所が必要とする木材の半分を市外や輸入に頼っています。市内には多くの森林があります。間伐などの管理が不十分で、木材として出てくる量が少ないためです。この先ずっと、安定した量を確保していくためにも、森林の管理が必要不可欠です。費用のかかる間伐や植栽、下刈りに対する国や県の補助金がありますので、ぜひ活用してください。真庭市の発電事業では、計画に沿って適正に管理された森林から持ち込まれた未利用材については、高く買い取る仕

組みも作っています。荒れた山が、宝の山になるかもしれません。

計画した伐採で 森林資源の循環

発電所が本格的にスタートすると、いわゆるはげ山になるのではないのかと心配する声もあります。皆伐により木は無くなりますが、真庭全体の森林をしっかりと管理し、切った場所には植栽または天然更新を行い、その木が生長するまで別の場所で切っていくことで、森林資源の循環を図っていきます。

地域資源を有効活用し 林業で雇用を創出

真庭市は、CLT（直交集成板）の普及、バイオマス発電所の稼働などにより、さらに全国から注目されることが予想されます。森林という最大の地域資源の有効利用と循環により、林業・木材産業から興していく裾野産業を活性化したいと考えています。それが地域の雇用と所得増加を生み出す機動力となり、真庭市の発展が持続していくことにつながっていきます。

林業で雇用を増やし 持続可能な森林資源を未来へ



真庭市産業観光部農林振興課
綱島 直彦 課長